



news release

本リリースは、2013年2月28日に発表されたものの日本語抄訳版です。

2013年2月28日

2012年12月31日期末暫定決算

	2012	2011	増減率
収入	159.99億ポンド	153.99億ポンド	+4%
調整後営業利益	59.70億ポンド	55.19億ポンド	+8%
営業利益	54.12億ポンド	47.21億ポンド	+15%
希薄化調整済1株当たり利益	207.5ペンス	194.6ペンス	+7%
1株当たり利益(基本的)	198.1ペンス	157.1ペンス	+26%
1株当たり配当	134.9ペンス	126.5ペンス	+7%

調整後利益および為替の影響を除いた利益を含む非会計基準ベースについては、英語版本文中の18ページに記載されています。

2012年度通期業績

- ・ ブリティッシュ・アメリカン・タバコ（以下グループ）の2012年度通期の為替の影響を除いた収入は、良好な価格設定モメンタムが持続する中、4%増となりました。
- ・ 報告ベースの収入は、不利な為替動向の影響により1%減となりました。
- ・ 為替の影響を除いた調整後営業利益は8%増となりました。
- ・ 報告ベースの営業利益は15%増となりました。
- ・ オペレーティング・マージンはグループが事業を展開する全4地域で拡大し、グループ全体では1.6%増（37.4%）という好調な成長を記録しました。
- ・ グループの販売数量は、主要市場の一部において業界レベルの縮小傾向が継続したことを主な理由に、前年度比1.6%減の6,940億本となりました。
- ・ 4つのグローバル・ドライブ・ブランドの販売数量は3%増となりました。ブランド別では、ダンヒルが2%増、ケントが1%増、ラッキー・ストライクが11%増、ポール・モールが3%増を記録しました。
- ・ 1株当たり当期純利益（希薄化調整済）は、主に営業利益の増加により、前年度比7%増（為替の影響を除いた純利益は12%増）となりました。
- ・ 1株当たり当期純利益（基本的）は、前年度の157.1ペンスから26%上昇し198.1ペンスとなりました。



BRITISH AMERICAN TOBACCO

- ・ 取締役会では、期末配当金を92.7ペンスと決議しています。2012年度通期の1株当たりの配当金額は、前年度比7%増の134.9ペンスとなります。
- ・ フリー・キャッシュ・フローは調整後利益の81%となりました。
- ・ 取引諸経費を除き12億5,000万ポンド、3,890万株の自社株買いを実施しました。また、2013年度における15億ポンドの自社株買いの継続が、取締役会で承認されました。
- ・ 新取締役員として、現グループ業務部門責任者、デス・ノートンが次世代製品担当マネージング・ディレクターに、アラン・デイヴィーが新グループ業務部門責任者に、2013年3月1日付で就任します。

2012年度に関するリチャード・バローズ会長のコメント

「2012年の当社は、良好な価格設定とオペレーティング・マージンの大幅な向上が不利な為替動向による影響をおおむね上回ったことで、堅調な増益を記録しました。こうした結果は、南欧をはじめとする世界各地における厳しい取引状況にもかかわらず、弊社が極めて健全な経営状況にあることを示唆しており、グループ戦略の遂行により将来も株主の皆様への優れた還元を継続できると確信しています。」

最高経営責任者のコメント

非常に良好な業績

2012年の財務目標をすべて上回る良好な業績を上げることができました。為替の影響を除いた自律成長による収入、および為替の影響を除いた調整後営業利益は、それぞれ4%増および8%増となりました。不利な為替レートにもかかわらず、1株当たりの当期純利益（希薄化調整済）が前年度比7%増（為替の影響を除いたベースでは12%増）となり、2012年度も株主に利益を大幅に還元することができました。

一過性の特別要因を除いた市場シェアは下期の良好なモメンタムに後押しされ拡大しました。主要市場の一部における業界レベルの縮小傾向の継続により、販売数量はわずかに減少しましたが、価格設定は引き続き堅調に推移しています。

オペレーティング・マージンの大幅な改善

2012年度のオペレーティング・マージンは、前年度比0.5%~1%増の目標値を大幅に上回る1.6%増となりました。優れた価格構成による6%の貢献（為替の影響を除く、たばこ税前）に加え、製造拠点の合理化、システムの標準化、および生産経費削減を通じたコスト基盤の改善による生産性の向上に引き続き重点的に取り組みました。

イノベーションを推進力とする成長

ダンヒル、ラッキー・ストライク、ケントおよびポール・モールからなるグローバル・ドライブ・ブランドは、イノベーションを推進力に、販売数量および市場シェアの両方で引き続き堅調に推移しました。ラッキー・ストライクの販売数量は、前年度比11%増と大幅に増加しました。



BRITISH AMERICAN TOBACCO

ダンヒルの販売数量は2%増、ケントは1%増（前年同期の日本における一過性の要因による販売数量の急増の影響を除いた場合4%増）、ポール・モールは3%増となりました。4つのグローバル・ドライブ・ブランドの総販売数量は3%増（日本における2011年の一時的な販売急増の影響を除いた場合4%増）となり、グループ全体の総販売数量の3分の1を占める水準まで拡大しました。グローバル・ドライブ・ブランドの市場シェアは、2012年度中に0.3%拡大しました。

ファイン・カットの販売数量は、同部門の主要ブランドであるポール・モールに後押しされ、西欧市場で8%増加となり、市場シェアを拡大しました。

次世代製品

グループは、たばこ業界でおこるイノベーションに合わせて、次世代製品のポートフォリオ構築にも取り組んでいます。2011年に設立された子会社Nicoventuresは、ニコチン製品の発売に向けた活動を進めています。

グループは2012年12月、英国を拠点に「e-シガレット」技術の開発を専門に手掛ける企業CN Creativeを買収しました。

取締役の変更

NicoventuresおよびCN Creativeの事業を統括する役職として、「次世代製品担当マネージング・ディレクター」が新たに創設されました。同役職には、現在グループ業務部門責任者を務めるデス・ノートンが2013年3月1日付で就任します。1995年入社ของノートンは、マーケティング、総務および業務の各分野で豊富な経験を有しています。

また、現在グループのサプライ・チェーン担当責任者を務めるアラン・デイヴィーが、同じく2013年3月1日付でグループ業務部門責任者に昇進し、取締役会に加わります。1988年入社ของデイヴィーは、製造、サプライ・チェーンおよび総務の各分野で様々な役職を歴任してきました。

今後の課題とビジネス機会

当社には地理的多様性、ブランド力、イノベーションへの投資、および新興市場での確固たる地位などに代表される強みが依然として備わっており、たばこ事業の将来にも自信を持っています。また、従来のたばこ事業に並行した次世代製品のポートフォリオ構築が、この先数年間にわたり新たなビジネス機会をもたらすものと確信しています。

2012年は、当社が事業展開する大半の市場でのシェア拡大と共に幕を閉じました。価格設定は引き続き堅調に推移しているほか、グローバル・ドライブ・ブランドも毎年堅調に伸びています。2013年に予想される課題を軽視することはできませんが、当社は強固な計画や成功に必要なとされる資源を持ち合わせております。当社には良好な成長を維持できるだけのモメンタムと実績、そして熱心な社員が備わっており、2013年も引き続き堅調な業績を達成できると確信しています。

ニカンドロ・デュランテ
最高経営責任者